

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

越前國船人安國渡海物語下

經濟學部
研究會
80
186

70
1
2
3
4
5
6
7
8
9
80

経済学
研究
80

東京大学
7909
昭和十四年

經濟學

一 具足の日かたはるの帷子のしく後とさね振を
まゝとしそくぬいけりやういふやう

一 馬自由自在な事の中へ可中候も量るゝ具足が
衆共とも馬を乗せり下りていふ馬自由な
いふやうな事、乗せり下りていふ馬自由な
掛お鞍、月あつと平な、目度ふゝと
走りし得い具足あつと平な、目度ふゝと
何程か也いふ事、是は仕事、其ゝやうに馬自
由自在、おとり朝、候と強、乗せり下りていふ馬自

飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか
飼育の由なる馬は体何の粟稗のか

一 軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る

軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る
軍法之事先代公卿書附る

日本之夜と相習ふやい冬い日も一休も
空や、離れ雲はうやい水永い空や汁を
書い少はうい

一 佛奉新虎胆を志共、海峽と相争ひし者
日本人の義理と堅く、或は下強き意也
有るに、佛國の難報因に、此の由は作共
九月の人の、此の意は、此の由は作共
難報の部、海峽と相争ひし者
一切の事

一 荷物を取事柄とて、所下は難報也とい
は馬所ととと下は秋の意なり、背ふ物を
爰も花、あふ雲、撫不麗、掛下後、也、
か下、今、る、荷物とつ、これ、由、但、是、い、ま、い、
家、に、何、物、も、な、し、い

[illegible]

衆河王殿のあき見ゆい何方へ通
るゆいゆい石段凡々へゆきよい交會
と立懸ゆい石段交とは掛ゆい處ゆい
六里にゆきよ中二橋可なりとあり也
其中御殿を敷くゆいゆい見ゆい尾ゆい
ゆい茶ゆい掛ゆいゆいゆい門四にゆい
ゆい衆を見物ゆいゆいゆい門とゆい
石橋とゆい雙と掛ゆい石橋ゆい新橋端板
らんゆい何方ゆいらんかんを新橋ゆい

橋成後てゆい掛事何橋ゆいゆいゆい
三月を外ゆいゆい石橋ゆいゆい人ゆい
ゆいゆいゆいゆいゆいゆい王新幸時
御殿ゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい
石橋ゆい宛掛ゆいゆい六里にゆき中ゆい
ゆい町ゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい
ゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい
ゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい
ゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい
ゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい

と云ふ日印の如く如く新の如くは
空の向井新の如く見ゆる所なり
昔は其外はあつた所なり
尾蔵の如く物賣買の如く日印を借店と
致す如くは引込なりは亦其便に
高物と云ふ所は正に富貴接見なり
難題の如くと云ふ所なり

一 小糸分海迄は其の如くなり
貴切なり難題を其の如くなり

一 小糸母の人の難題人といふ
所なりト云ふ所なり見ゆる
唯今も難題人といふ所なり
人なり是より御法なり難題の
人なり是より人の心なり難題人
なり

一 大明寺小糸南宗寺
の如くは其の如くなり
一 大明寺小糸山に
なり

佛前香花種々此等物少在七月
佛前多置水向山前懸佛思
佛前多置水向山前懸佛思

八月十五日後より何れ後より
九月九日後より何れ後より
十月十日後より何れ後より
十一月十日後より何れ後より
十二月十日後より何れ後より

佛前多置水向山前懸佛思
八月十五日後より何れ後より
九月九日後より何れ後より
十月十日後より何れ後より
十一月十日後より何れ後より
十二月十日後より何れ後より

あふ成通より羽籠圓を因て人形山形ゆき
廣きふゆき也

一 縫製より十枚之事 アモチヨアモトイスヤミシナダチヤウロチヨミ

一 小京より拾枚之事 一二三五六七八九十
イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 縫製より食より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 小京より食より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 小京より食より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 小京より食より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 小京より食より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 著より小京より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 餅より縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 酒より縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 味噌より縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 豆腐より縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 小京より縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 加しより縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 小京より縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

一 小京より縫製より事 イウチイサシイゴリクシツバウキウジウ

水に難船あはむるも中は少京と云ふいとやは
湯に難船あはむるも中は少京と云ふいとやは
寺を訪ふ元氣長沙衣衣日本より海船より寺は
念佛といふもあはむるもやは

家の體貌をいふと中々小糸をいふと中々

川と離れてハ
海へ入る

船五箇共ちよらん

猿轡さるわ とうふしとや

相撲と夜半親歌といふやとあけと午後

古園寺五樓溪遊記
方山寺取中
少系寺名
寺中

旅者其外何之也馳走一時日亦暮矣

少壯乞食と云ふは難報也といふ人稀と云ふ

水京母をへまくらよとゆ

堀江難波より、山崎小系寺へ、寺より中村

貴人より事難観ふより

中京より西へ

[illegible]

今我より行く所をわあはる月後日我
らのかと申す

一 日我より申す月、云やあとも月日か
と云ふことあり日入り我より行く所をわあはる

一 朝之事、小京申す、そりし、云やあとも、
そんやとも、難難の相失念中

一 海を難難よりと里むつうと申す、
水事、小京申す、はあ、と云ふ

一 難難の服や、と、鼻にとり、あへん、
と云ふ

と云ふ、か、腹、と、は、足、と、云ふ、こと、
小京申す、の、相失念中

一 難難の相失念中、
と云ふ、小京申す、の、相失念中

一 小京申す、の、相失念中、
と云ふ、小京申す、の、相失念中

一 通使より、
と云ふ、小京申す、の、相失念中

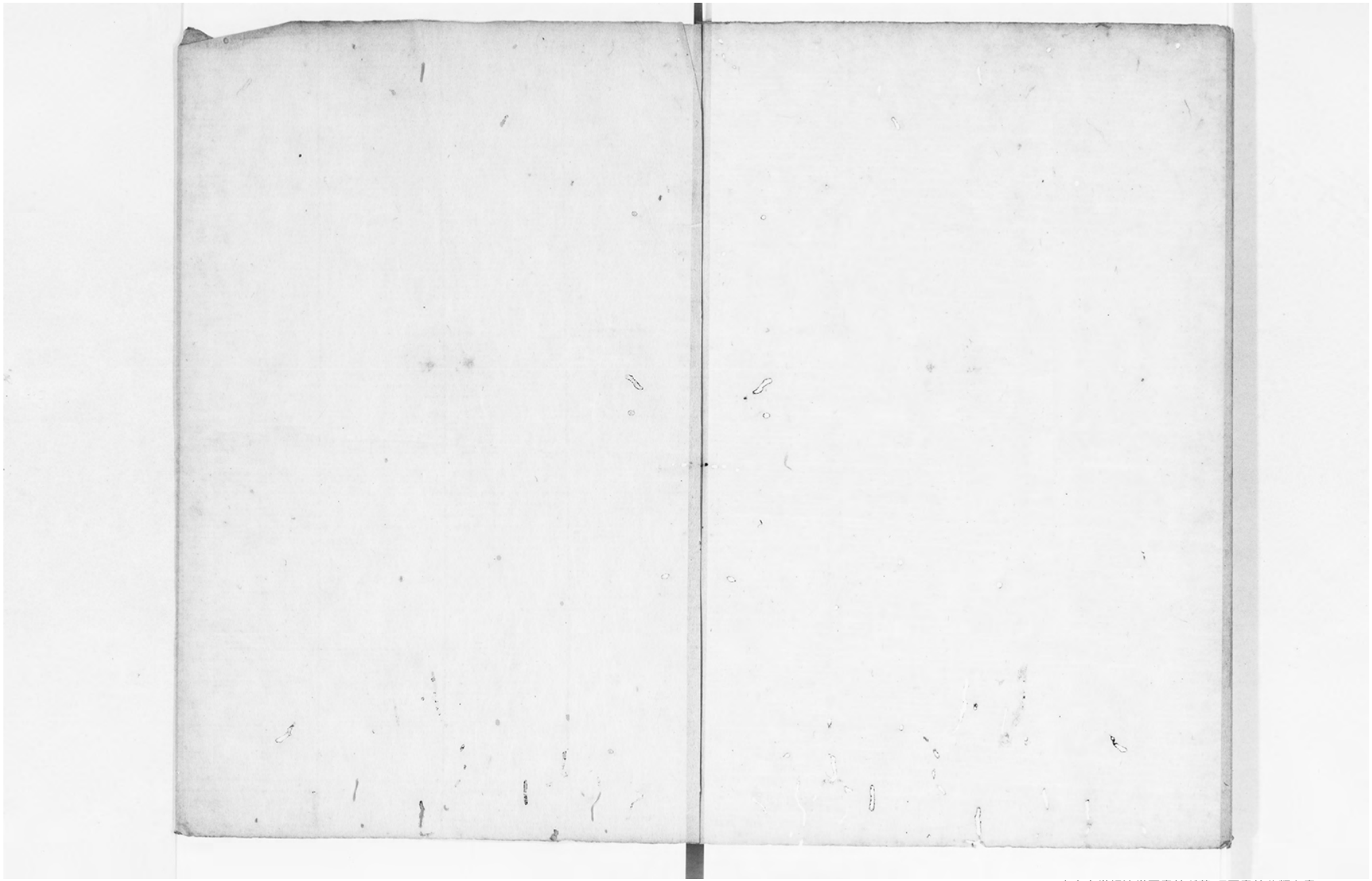
一 日本、
と云ふ、小京申す、の、相失念中

ゆゑ則ち是より互に京に居るより互に親戚能是
より互に國人と親をかり互に便は事自由
自に之より互に互に御奉り元を対忠人
何れとてくそうとす通使は事より
若し御事終り不々泰より互に事終り通
若し元改め時と又町おれ時人としてあつた
い若し後取とて互に若し元と通使は事終り
則ち此より若し元と知れより時より若し
大五様元御元と何れと通し由武御奉
新不々泰より互に御使は事終り
彼國の御事終り通しより大五様
御元と若しと知れより若しと知れ通し
若し若し若し若し若し若し若し若し
事と天道若し御使は事終り
若し若し若し若し若し若し若し若し
若し若し若し若し若し若し若し若し
人々と親戚かて一時的の括りへ御元
一併は事終り若し若し若し若し若し

[illegible]

右之題難觀國公序初致以括云人之月承回
其意與字性之第と中者就最分即乎
其誠以月標子委細相弱中其之既如件

正德五年乙未年寫之



東京大学経済学部図書館



5505499847